

CNP広域連携輸送検討WT

基本的な方向性

- 【考慮事項①】時間軸を踏まえた課題と対応の方向性
 【考慮事項②】広域的な潜在需要（段階的な需要変化含む）
 【考慮事項③】広域連携輸送を前提とした必要な施設や用地のスペック・規模
 ⇒方向性：広域連携輸送の最適範囲とネットワークモデルの構築

今後の検討事項

CNP広域連携輸送ネットワークの検討ステップ(案)

海外積出港から需要地までの輸送・貯蔵を対象

需 要

+

供 給

+

輸送・貯蔵

日本海側の最適な海上輸送網 : 仮定シナリオに基づく広域連携輸送のコスト比較

- 【考慮事項①】水素・燃料アンモニア等の広域需要推計
 - 水素・燃料アンモニアの利用が検討される分野別・港別に需要を想定
 - 量・発生地・時間軸を想定

- 【考慮事項②】水素・燃料アンモニア等の脱炭素化施設への供給方法
 - 案件開発の状況等に基づき、海外からの供給を想定（国内の地域水素源についても整理）
 - 供給国等と調達割合を想定

- 【考慮事項③】受入施設等の必要スペック
 - 外航、二次輸送（内航）、貯蔵等につき想定
 - 輸送船の船型、輸送方式、貯蔵方式等を想定

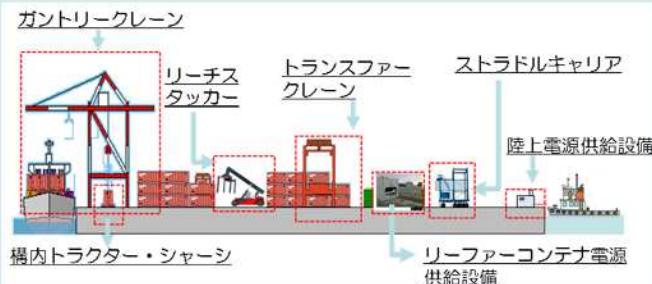
CNP新技術等活用検討WT

基本的な方向性

- 【考慮事項①】CNP新技術等導入の区分整理
 【考慮事項②】CNP新技術等実証試験のモルブランシング・ロードマップ
 ⇒方向性：CNP新技術等活用に向けた連携・情報共有体制の構築

今後の検討事項

コンテナターミナル内で使用される主な荷役・輸送機械等

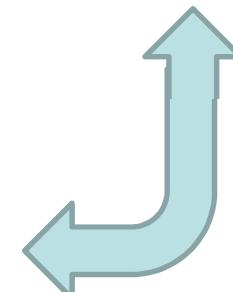
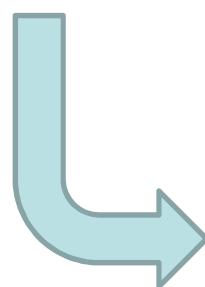
コンテナターミナル
出入船舶・車両

コンテナ船等（曳船などの作業船含む）

コンテナトレーラー（背後牽引用）



本WTが中心となり、北陸地域の行政機関、港湾立地・利用企業等が連携・情報共有できる体制の構築を図る。



北陸管内港湾の連携によるカーボンニュートラルポートの実現